

◆ 研究体制の変更について

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は戦略研究につきまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本研究は平成 18 年度より、富山大学 副学長・病院長 小林 正先生が研究代表者として実施してまいりましたが、平成 22 年度より田嶋 尚子に研究代表者が変更になりました。また、データセンターにつきまして株式会社シーポックから株式会社ヘルスクリックに変更となりました。

研究体制変更に伴いまして、ご迷惑おかけいたしましたこととお詫び申し上げますと共に、本研究につきまして引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



◆ 症例報告書ご提出のお願い

症例報告書ご提出のお願いについてのご案内や症例報告書をお送りする時期が遅れており、ご準備いただいている先生方には大変ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。今月中には「症例報告書（3 年目）」を送付させていただけるように準備しております。

また、「症例報告書（4 年目）」につきましては、現在、研究班で検討の上、症例報告書の改訂版を作成しております。お時間をいただきまして誠に申し訳ございませんが、作成が出来次第ご送付させていただきます。

「症例報告書」と併せて、データ採取期間を記載した資料を同送させていただきますので、参考にしてくださいましたら幸いです。ご多忙な中、大変お手数をおかけいたしますが、引き続きご協力賜りますよう、衷心からお願い申し上げます。

データ収集期間につきましては、期限を過ぎてしまっている場合でも、遡って該当期間のデータ収集が可能であれば、該当期間のデータをご記入の上、報告書のご提出をお願い致します。同封のデータ収集期間は、あくまでもその期間内のデータが望ましいということでありますので、この期間外であってもご提出いただけるデータがございましたら、是非報告書にご記入の上、ご返送いただけますと幸いです。

また、問診票の記載に関しましては、過去の状態を振り返っていただくのも難しい点があるかと存じますので、可能な範囲でのご記入で結構です。

◆ QUO カードについて

「症例報告書（3年目）」発送時より、1症例につきQUOカード（500円分）を1枚同送させていただきます。既に「症例報告書（3年目）」を発送させていただきました先生には、本ニュースレターに同封させていただきました。

ご多忙な中大変お手数おかけいたしますが、脱落を最小限にとどめるべく、追跡調査のご協力をお願い申し上げます。また、2年目以降はエンドポイントが発生した場合の報告も必要となります。ひとつの合併症がエンドポイントを向かえた場合においても他の項目のデータ収集は継続いたしますので、ご留意くださいますようお願いいたします。

※ QUO カードとは…

全国共通でご利用いただけるプリペイドカードの1つです。

以下のマークのあるコンビニエンスストア、ファミリーレストラン、

ガソリンスタンド、ドラッグストア、書店等の全国約36,000店舗にてご利用いただけます。



このマークが目印！

◆ データセンター変更のお知らせ

平成22年4月から株式会社ヘルスクリックにデータセンターが変更となりました。何かございましたら、以下にご連絡いただきます様お願い致します。

JDCP study データセンター

住所：〒141-0031

東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル2階 株式会社ヘルスクリック内

電話：0120-79-1024（平日9時～17時30分まで）

FAX：0120-03-1024（24時間）

E-mail：hc-jdcp@cmic.co.jp